南笠東学区人推協だより
絆
きずな

第25号
2025年3月1日

南笠東学区
人権教育推進協議会

令和6年度のあゆみ

「総会」 5月15日



「第3講座」 7月19日



「第4講座」 9月6日





「管外研修」 9月19日



「実践発表のつどい」 2月15日





平和への一歩

南笠東学区人権教育推進協議会　会長　大西　叡宏

人権教育推進協議会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

異常気象が日常化している昨今、世界中が自国中心に動こうとしています。

今こそ平和な日本が世界をリードして、平和の意義を実現するトップに立つべき時です。

思いやりを忘れて利益追求に走る世界の人々を目覚めさせるべく努力すべきです。

家族・地域のコミュニティ社会、助け合う心でコミュニケーションに努める時です。

自然のあらゆる物に神が宿るという、日本古来の文化で全ての人々への尊厳を忘れず、話し合い理解を深めるのは簡単ではありませんが、努力に値する事です。人権も知り学び気付けて改善を続けて、又学び直し思いをめぐらし学び続けたいものです。

令和６年度人権管外研修

人権教育推進協議会副会長　北浦　博幸

令和６年度「人権教育管外研修」は、令和６年９月１９日（木）に京都市の立命館大学平和ミュージアムと柳原銀行記念資料館を訪問しました。事務局の方２名を含めて各町内会から１３名の方に参加いただきました。１０時頃、「国際平和ミュージアム」に到着、ガイドさんから、世界初の大学立平和博物館として開設されたこと、また館内の展示物の説明を受けました。その際、どうしたら戦争がなくなるか考えてほしいと課題を与えられました。平和とは何か？平和を築くため私たちは何ができるか？等を考えて下さい、とも説明がありました。展示は、年表に写真が年代順に表示されており、明治の帝国主義・植民地主義の形成、日清・日露戦争～第２次世界大戦へと進んでいった過程が良くわかるものでした。平和とは？戦争だけではない、人権差別のない、誰もが安心して生活ができる世の中ですと、説明を受け、今の日本はいまだに部落差別が存在する現状で、考えさせられました。



続いて訪問した「柳原銀行記念資料館」は、被差別部落の住民によって設立された銀行であるとの説明を受け、倒産後は「どんつき」として建物は残っていましたが、道路改良に支障となったので取り壊しが検討されましたが、貴重な建物と判明したので、現在地に移転されたと説明を受けました。

初めて管外研修に参加しましたが、とても楽しく有意義な、又考えさせられた１日でした。訪問先で親切・丁寧に説明をして下さった皆さんに感謝です。

令和６年度モデル町内会の取り組みについて

南笠ニュータウン町内会会長　北浦　博幸

令和６年度は輪番による学区モデル町内会に選ばれ、第１～第４講座を受講する中で、様々な人権等について学ぶことができました。第１、第２講座は草津クレアホールで開催され講師の部落解放同盟草津市協議会、寺田様から「部落差別とわたし」と題して、結婚差別の実体験を、又関西大学教授の内田様からは「日常の中にある部落差別」と題して講演され、いまだに存在する差別の根深さを再認識しました。

第３講座は、「人権を基盤とした包括的性教育とは～子供若者の現状から考える～」と題して、思春期保健相談士の脇野様の講演があり、日本の性教育の現状、性教育を受けることは権利、科学的に正しく、年齢に即した性教育の重要性等を学びました。

第４講座は、「人権の学び（普遍的視点と個別的視点を踏まえて）～共に生きる」と題して、上寺様の講演があり、人権教育の大切さ、学ぶことの大切さなどを再認識しました。

南笠ニュータウン町内会における町内学習懇談会では、DVD「わたしの中の差別意識部落差別問題から考える」を視聴して感想や体験等意見交換しました。参加者からは、町内会活動に参加して情報交換やコミュニケーションができている等の意見があり、草津市行政職員の方のご指導を受けながら、人権について沢山学ぶことができました。

管外研修での思い

令和6年度モデル団体　青少年育成学区民会議会長　藤居　朋寛



滋賀県では、条例で「すべて県民は…地域社会において相互に連携する等それぞれの立場において、青少年の健全育成にふさわしい環境をつくるように努めなければならない」とされています。

私たちは、青少年を取り巻く環境について学ぶために、社会福祉法人小鳩会（大津市）に研修に行きました。小鳩会では一人ひとりのこどもが主体者として尊重され権利が守られることを目指し、乳児院・児童養護施設併設を活かして、様々な事情で家族による養育が困難なこどもたち（乳幼児）に、個別的で丁寧な支援を行う「家族的養護」を提供されていることを学びました。

また、「こどもは地域の中で育まれる」という視点を持っていると拝聴し、私たちもこどもたちの健全育成について地域の皆様とともに、さらに事業を進めていく思いを強めることができました。

自彊術サークルの活動

令和6年度モデル団体　自彊術サークル　陀安　玲子

自彊術（じきょうじゅつ）とは、日本で１００年以上前に誕生した治療を目的とする体操です。いつでも・どこでも・マイペースで無理なく行えます。体の歪みの矯正、疲労回復、さらに生活習慣病の予防などに役立ちます。毎週、仲間共に和気あいあいと楽しく頑張っています。自彊術サークルは令和６年度人権モデル団体として活動させていただきました。

クレアホールで開催された第一・第二講座、南笠東まちづくりセンターで開催された第三・第四講座に参加しました。また、京都市の柳原銀行や宇治市のウトロ平和祈念館へ行き、ガイドさんから説明を受けながら見学させていただきました。これまで学校や職場、また、町内学習懇談会で人権について学習してまいりました。さらに、今年度の人権講座でアンコンシャスバイアスや人権を基盤とした包括的性教育など、昭和・平成とは違う令和の人権問題について知ることができました。

一度立ち止まって考えてみること、これまでの学びを脱学習するなどまだまだ知らないことがたくさんあります。人権学習を学び続けることの重要さに気づかされた１年でした。今後もサークルでは、学んだことをさらに活かして人権学習に取り組み続けて行かせていただきます。

人権学習会を終えて

南笠東小学校 PTA　人権教育推進委員長　伊賀　美乃里

今年度は、滋賀県教育委員会 スクールソーシャルワークスーパーバイザー 社会福祉士として、困難を抱える子どもの支援に長年従事されてきた上村文子先生をお迎えし、「今を生きる子どもの育み～効果的な関わりについて～」をテーマにご講演いただきました。



学校や地域の中で日々挑戦している子ども達が、困難な状況も乗り越えていける「しなやかさ」「たくましさ」を身につけるのに大切なまなざしや声かけ、「できていることをほめる」ほめ方、「具体的に短く、今に焦点をあてる」叱り方等、理論とご経験両方からのお話をいただきました。

参加者からは、今知りたかったことが聞けて良かった等の感想もあり、多くの学びのある学習会となりました。

玉川中学 PTA 人権教育推進委員会の人権のとりくみ

玉川中学校 PTA　人権教育推進部長　中村　祐介

「つながり、気づく人権教育～親子のコミュニケーションを通して～」をテーマに活動し、２回の学習会を開催しました。

第１回は６月に、㈱NIT 情報技術推進ネットワークの篠原嘉一さんにご講演いただき、インターネットに関するトラブルから身を守り、スマホ等を正しく使用する方法を学びました。

第２回は１１月に、日本 LGBT 協会代表理事　清水展人さんより、「男らしく、女らしく、よりも『自分らしく生きる』～ひとりひとりの多様な性が尊重される世界へ～」をテーマにご講演いただきました。性のカテゴライズよりも、その人らしさを尊重してほしいと、優しくお話し下さいました。学習会で得た気づきが家庭での話題となり、親子で気持ちを共有する機会となればと思います。

人権センターの取り組み

草津市立人権センター　諸頭　正樹



７月６日（土）に開催した町内学習懇談会推進者研修講座(第１・第２講座)では、講演を通して「差別の現実をとらえることの必要性」や「学びによって差別をなくすことができる」など、町内学習懇談会で大切にしたいポイントを、参加者の皆さんと確かめ合うことができました。

９月に発刊した「めざめ第４７集」では、「自分で確かめ、正しく判断し、向き合う自分」をテーマに、人権感覚をアップデートし、差別をなくす行動につなげる私の生き方を考えることをめざして作成・配布しました。

南笠東学区人権教育推進協議会の皆様、ご協力いただきありがとうございました。

人権作品・表彰者　一覧

標語　一般の部

（敬称略）

- 知らぬふり　いつかはきっと　自分事　竹下　敬二
- 大丈夫　ひとりじゃないよ　笑顔だよ　三谷　千代美
- 「ありがとう」その一言で　いやされる。　平川　しげ子
- 思いやり　あふれる町を　創ろうよ　橋本　頌造
- 道を行く　子供とあいさつ　さわやか通学路　廣道　初枝
- 大丈夫？傷つく人はいないかな。あなたのスマホのその投稿　岩﨑　慈世

標語　小・中学生の部

- たすけ合い　友だちにすると　気持ちいいな　武田　彩花　（小３）
- 友だちは　心の中の　宝物　畑　清翔　（小３）
- 言葉づかい　気をつけないと　傷がつく　仲田　成　（小３）
- しあわせは　みんながえがお　いい気持ち　田村　優史　（小３）
- 助け合い　みんなで生きることは大事　細尾　悠人　（小３）
- しあわせは　わらい合える　助け合う　山口　琥生　（小３）
- 思いやり　心をつなぐ　バトンパス　仲田　丞　（中１）
- 分かり合う　それが仲間の　第一歩　金谷　優音　（中１）
- ここにいる　きみのみかたは　すぐそばに　中本　幹太　（中２）
- 笑顔から　人の心を　つなげよう　金森　陽向　（中２）
- 大丈夫　私はいつでも　傍にいる　治部　栞　（中３）
- 個性の色　何色持っても　美しい　小谷　梓華　（中３）

作文の部



- 人権学習をして　遠藤　花恋　（小４）
- 人権の重要性・必要性　羽山　結衣　（中１）
- 当たり前　小椋　愛菜　（中２）
- 障がいに対する差別や偏見　山本　樹里　（中２）

ポスターの部

- 若山　杏理（小６）
- 畑　桃和　（小６）
- 樋口　穂香　（小６）
- 李　恵琳　（小６）
- 片岡　智裕（小６）
- 鈴木　遼太郎（小６）
- バレラ ハダサ ミカイラ ソルソロイ　（中１）
- 松原　小桜　（中１）
- 白米山　侑那（中２）
- 山﨑　春花（中３）

２月１５日の実践発表のつどいで表彰させていただきました